

F - 400をご使用になる場合は下記、電線接続マニュアルの手順に従い、作業をして下さい。

F - 400 電線接続マニュアル

1. パネルへの取り付け

パネル取付け孔にF - 400本体を通し、ナットを推奨締め付けトルク(0.8N・m)で締め付けて下さい。

注意! : 推奨締め付けトルクを超えるトルクで締め付けしないで下さい。



2. 電線を接続する

はんだ付けにて、電線を接続する場合

- ・端子にベタ付けではんだをする場合は、そのままはんだ付けを行って下さい。
- ・端子の孔に電線を絡げてはんだをする場合は、取付けパネル側の端子を起こさないと電線を絡げ難いので、その際は下図 ~ の様な方法で端子を起こし、その後、 の様に端子の孔に電線を絡げはんだ付けを行って下さい。

リードペンチで端子を挟む

なお、リードペンチは奥まで挟みこめる様に先端の薄いものをご使用下さい。

推奨工具は

フジ矢(株)製 : No.360A - 150です。

ホーザン(株)製 : P - 34

(株)エンジニア製 : PL - 05

リードペンチはこの位置まで挟んで曲げて下さい。
(リードペンチの先端を支点として端子を曲げ起こして下さい)



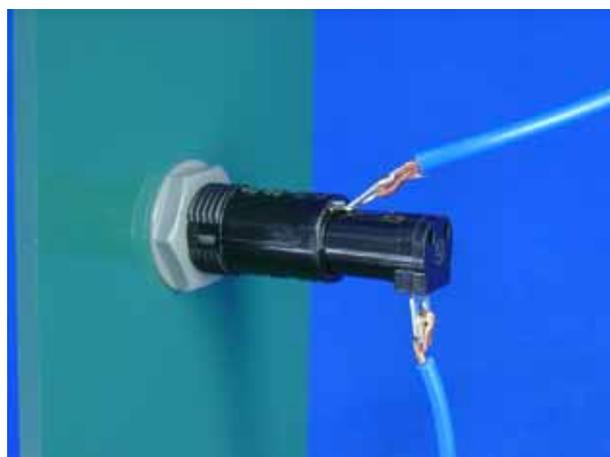
端子を曲げて起こす

注意！：取付けパネル側の端子は 45° 以上曲げないで下さい。また、一度曲げた端子は元に戻さないで下さい。屈曲により折れる場合があります。底部の端子は曲げずにご使用下さい。取付けパネル側の端子を起こした場合、角度によって取付けナットが外せなくなりますのでご注意下さい。



端子孔に電線を絡げてはんだ付け

注意！：はんだ付けの際、はんだが本体内部に流れ込まない様に注意して下さい。ヒューズ管の装着は、はんだ付けの熱が完全に冷えてから行って下さい。



レセプタクル端子(平形差込端子)を使用して、電線を接続する場合

- レセプタクル端子を使用して接続する場合は、取付けパネル側の端子を起こさないとレセプタクル端子を差し込み難いので、その際は下図 ~ の様な方法で端子を起こして下さい。その後、様にレセプタクル端子を差し込んで下さい。

リードペンチで端子を挟む

なお、リードペンチは奥まで挟みこめる様に先端の薄いものをご使用下さい。

推奨工具は

フジ矢(株)製 : No.360A - 150です。

ホーザン(株)製 : P - 34

(株)エンジニア製 : PL - 05

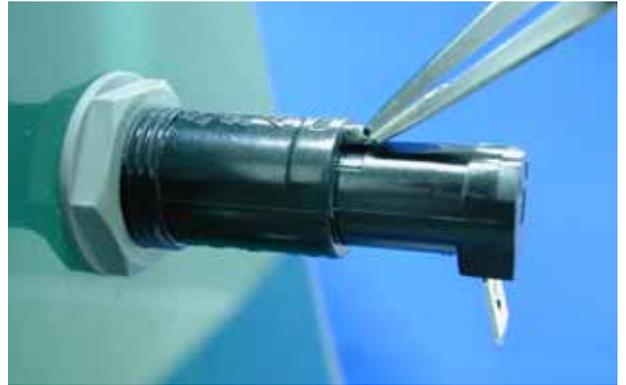


リードペンチはこの位置まで挟んで曲げてください。
(リードペンチの先端を支点として端子を曲げ起こして下さい)



端子を曲げて起こす

注意！：取付けパネル側の端子は 45° 以上曲げないで下さい。また、一度曲げた端子は元に戻さないで下さい。屈曲により折れる場合があります。底部の端子は曲げずにご使用下さい。取付けパネル側の端子を起こした場合、角度によって取付けナットが外せなくなりますのでご注意下さい。



レセプタクル端子を接続する

注意！：レセプタクル端子を接続される場合は必ず F - 400 の本体を手で押さえてパネル取付け部に不要な力がかからない様、行って下さい。また、レセプタクル端子は確実に差し込んでご使用下さい。完全に差し込めないレセプタクル端子はご使用にならないで下さい。なお、レセプタクル端子での接続は VDE 規格品としては認められていませんのでご注意下さい。



3. 接続した電線に張力がかからない様、電線を固定する